



春日井高等特別支援学校

30th Anniversary

桜道

題字: 28回生
K・K・K



「元氣をもらった。」
などの感想が出ました。
太鼓の響きが心に深く刻まれる三十周年記念の素晴らしい一日となりました。



本校の創立三十周年の記念行事の一つとして、令和六年五月十日（金）に転輪太鼓のS EEDチームを招き、体育館で和太鼓の演奏を鑑賞しました。春日井市に拠点がある転輪太鼓は、国内外で精力的に演奏活動を行っているグループで、本校の創立二十年目の音楽鑑賞会にも出演していただきました。
生徒たちは迫力ある演奏に圧倒されながらも、演奏体験をしたり、手拍子や拍手のタイミングを教わったりするなどして、参加型の和太鼓のパフォーマンスを楽しむことができました。大変盛り上がり、「太鼓からエネルギーを感じた。」

「和太鼓演奏の鑑賞会」
創立三十周年生徒向け行事



御礼 校長 橋部 和典

「桜道」第一号には、入学式を食堂で行った写真があります。第三十二号には、十周年記念式典で全生徒による「雨ニモマケズ」の朗唱を行ったとあります。第六十二号の二十年目記念号には、当時の学校評議員の方が登下校時の生徒の挨拶は地元で評判で、すばらしいとあります。何も無い状態から始まった学校から、今も続く「雨ニモマケズ」の朗唱や、先輩から後輩につながる元気な挨拶など、有形無形の「レガシー」が受け継がれています。三十年目を迎え、本校に関わった全ての皆様方に感謝申し上げます。



みんなで祝おう三十周年！

会長 どうもこんにちは。生徒会長です☆今年本校創立三十周年。このコーナーでは、愉快な生徒会メンバーと一緒に三十周年記念グッズを紹介しちやいます。まずは記念グッズ。このクリアファイル、副会長Aなら何を入れる？

副会長A ぼくは『夢』を入れとくね。
副会長B 副会長Aってそういうキャラだったんだ(汗)。
会長 続いて航空写真。副会長Bはどこにいるの？
副会長B 私はここ！ここにいますよ☆



書記A ここってどこ(笑)。エコバックもとっても使いやすいそうだね。

会長 副会長Aなら何を入れる？

書記B その振りもうやめましょうよ(汗)。三十周年記念Tシャツのデザイン。僕好きだな。

会長 六色もあってとっても可愛いね。一年生のO・Mさんのデザインなんだよ。



一同 素敵〜〜〜めでたい！うれしい！三十周年記念グッズの紹介でした☆



三十周年に寄せて

本校は三十周年を迎えました。本校の歴史やこれからについて対談を行いました。
(抜粋掲載)

【参加者】

前学校評議員	武田	竹久様
PTA会長	光川	久雄様
卒業生	松田	幸一様
校長	橋部	和典
教諭	丹羽	哲也
寄宿舎指導員	鈴木	千尋
教頭	藤部	裕美

Q ここに学校ができたエピソードを教えてください。

武田様：中切地区の区画整理が行われ、保留地としての六千坪の土地について愛知県から県立の養護学校を作りたいと打診がありました。私たち地域住民の多くは農民や百姓しか知らないで、養護学校という言葉が引かかって一部の方から不安がありました。ところが、県の職員の説明や豊田市に既にあった学校への見学を企画してくれました。何も普通の高校と変わりがなく同じではないかと地域の方あった不安も解消され、今こうしてここに学校が建てられました。



光川様：学校の土地の確保や学校ができたエピソードを興味深く聞いていました。今後、継続的に四十年、五十年と続いていければと親としても思うところです。できれば、今後とも今日のこの会のような交流ができれば良いと思います。

橋部校長：今、武田様がお話しされたところ、調べてみました。農地から少しずつ開発が進んで、お隣のお寺の長全寺は、明治時代から古い地図を見てもずっとあって、今でいうとランドマークという感じです。調べてみると、学校の経緯などは用地の確保が苦労して、反対運動もあったようですね。

Q 本校についての印象はどうですか。

武田様：区長や学校評議員のとき私たちは行事に招待いただいて、見る事ができました。地域の人たちも学校の近くを通っているの、学校を良く見えています。生徒たちは特別支援学校に通っているけれど、勝川駅からの登下校のとき挨拶しても上手に返ってくる礼儀正しいというような口コミがだんだん広がっていて、良い印象となっている。また、教員の指導が良いからじゃないかという声もある。道路や水路も掃除してくれるし、中切公園の掃除も私たちと一緒にしてくれる。ここに学校ができて良かったと思いつく人が増えていると思います。

丹羽教諭：地域の方々には体験実習というところで何十社も御協力をいただき、学校を支援いただいています。本校の特徴の産業科というところで実習が助かっておりまして、おかげで今も多く企業さんとの関わりがございいます。

橋部校長：武田様の、本校の生徒が挨拶をしつかりできるというお話で、自分がこの学校に来て先輩の先生に言われたことは、必ずしも歓迎されて本校ができたわけではないという事を踏まえうえで、挨拶をきちんとしていこう、通学の様子を見ていただけている、

常に見ていただいていることを意識して指導しなきゃいけないよということでした。その思いが、今も続いているのかなと思います。ちよつとずつ認めてもらって、地域に育てていただいていると思います。

Q 学校で学んで活きていることや今の生徒たちに伝えたいことはありますか？

松田様：挨拶が一番だと思います。今でも挨拶すれば、会社の係長や組長に気持ちを伝えられるので、挨拶が一番必要だと思います。学校当時はそんなに感じなかったけど、やっぱり仕事していると、学校で挨拶の訓練ではないけど、今の仕事に身についているかなと思う。挨拶がないと、慕ってくれることもないし普通に接してくれない。会社の方に挨拶がいいねって言われた。学校では感じてなかったけど、社会に出て、癖・当たり前になっていきます。



光川様：当たり前のように普通にできることがすごいんじゃないかと思えます。親からしてもそう思うところがあるので、普通に行っているのが当たり前になって、そのまま社会に出てくれていることを継続するのがすごいと思います。

武田様：挨拶は、一番大事なことです。アメリカで活躍してる大谷もプレーヤーとしてもずば抜けているけど、マナーというか理性というかそういう優れたものをもっているみたい。

相手との激しい接戦してするような試合の時でも相手チームの選手にも自分のチームの選手にも隔てなくきちんと挨拶するという、人間にとっては大事なことを優れている大谷は持っていると思うことがあります。私も学びたいなと思いました。みんなと年とっても仲良くしていこうと思ったなら挨拶は大事。家庭の中でも地域の中でも。

橋部校長：本当にありがとうございました。とても一時間では収まらない、もっと時間があればと思います。すごく楽しい時間でした。同時にこれから我々職員は頑張っていかなければならない。少し話題にも出しましたが、目指すところは社会自立。そこはぶれずにずっと変わっていないので、そのために何をやるのかというところをしっかりと考え、頑張っていこうと思います。今日は本当にありがとうございました。





十一月八日(金)に体育祭を行いました。

今年の体育祭は、「学校祭」と称して文化祭との同時開催となりました。多くの保護者や卒業生、来賓の方々に御出席をいただき、盛大に開催することができました。

一年生は、初めての体育祭の参加となりました。学年の種目「簡単には走れえせんよ」では、いろいろな種目をバトン代わりにリレーを行い、全員が声を掛け合いながら楽しく競技に参加することができました。

二年生の「大縄跳び」では、クラスで目標回数を決めて、連続跳びに挑戦しました。全員で声を合わせて、ジャンプする姿が印象的で、当日、目標記録を大幅に超えるクラスもあり、クラスごとの団結力を見ることができました。



三年生の「棒取り合戦」では、どの棒を取るかクラスで作戦を考えて、競技に参加しました。引き合いがきつ抗する場面では、白熱した棒の引き合いが見られました。

パフォーマンスタイムでは、クラス団ごとでの発表となりました。三年生が演技の細かい構成や振付を丁寧に後輩に伝えながら、ダンスを完成させました。当日は、クラス団ごとで特徴のある演技を発表し、多くの人が大きな拍手をもらいました。

今年は、三十周年を記念とした体育祭でしたが、三年生の生徒からは「みんなで作り上げた体育祭。最後の良い思い出となりました。」との声がありました。これからも、生徒たちが主体的に取り組める行事になってほしいです。

今年、本校は創立三十周年を迎え、記念式典を文化祭のオープニングで行いました。

最初に創立三十周年記念事業実行委員長・PTA会長の光川様の御挨拶、本校校長挨拶と続き、三十周年記念作品として制作された作品の紹介があり、美術部からは「虹龍図」という絵、文化教養部からは「雨二モマケズ」が書かれたパネルをステージ上で披露しました。また、三十周年記念品として、クリアファイル、エコバック、Tシャツなどの紹介をしました。オープニングの最後に、本校の三十年を振り返る動画を視聴しました。動画を観た卒業生からは、「懐かしい」「昔を思い出した」との声を聞くことができました。動画の中で在校生が映し出されると、生徒から歓声が上がると、とても良い雰囲気でのオープニングとなりました。

舞台発表では、一年生は「ハンドベル」、二年生は「クラス朗唱」、三年生は「朗唱と合唱」、音楽部は「ハンドベル」の発表を行いました。生徒達の様子を見てみると、緊張して上手くいくのか不安な様子がありましたが、発表後には達成感に満ち溢れた表情を見ることができました。

今年初の試みとして、キッチンカーの出店が、PTAの協力のもと、中庭で行われました。来場した保護者や地域の方など、多くの方が利用し、長蛇の列ができていました。

今年の文化祭は、新型コロナウイルス感



染症の規制緩和後、最多の来場者となり、多くのお客さんでにぎわいました。多くの方に来校していただき、創立三十周年にふさわしい文化祭となりました。ありがとうございました。

木材加工

木材加工は、中学生時代には技術の授業で基本的なことを学んでいることもあり、学習内容について具体的なイメージがもちやすい工業です。

一年生では、鋼尺やスコヤを使った寸法取りやのこぎりを使った切断など、手工具の正しい取扱いについて学習する中で、安全で正確な作業をすることの大切さを学びます。そして、製品を製作する過程で、自分で考え工夫するなど、ものづくりの楽しさや製品を完成させたときの達成感を味わってほしいと考えています。

二・三年生では一年生の時に身に付けた知識や技術を生かして、様々な製品の製作に取り組みます。授業の中では、これまで使ったことのない工作機械を活用しての組立などの初めての作業もあり、上手いかわない場面もありますが、お互いに意見を出し合い、どうすればよいのか考えながら協力して製品を作り上げていくことの大切さを学びます。そして、作業の流れを理解し、主体的な取組ができる力を身に付け、卒業後の進路に結び付けていくよう日頃より頑張っています。



金属加工

金属加工では、様々な種類の金属を切断したり、研磨したり、接合したりして製品を作ります。なじみのない授業かもしれませんが、働く上で必要になる根気強さや丁寧さを学ぶ上で、とても大切な授業となります。

一年生では、金属加工の基礎を学びます。工具や器具の使い方、安全に関する基礎知識を学習します。金属の特長や金工やすり、弓のこぎりの使い方を学びます。加工しやすい真ちゅうで、キーホルダーを製作したり、型紙に沿って部品を成型したりして、恐竜や昆虫の模型を作り上げます。模型作りでは、様々な種類の金工やすりを使い、部品を丁寧に仕上げますが、少しずつ部品が出来上がっていくことは、とても達成感があります。

二・三年生は、生徒が作る製品を考えます。机や長椅子等のデザインを考えて、作業工程を話し合いながら、作図をし、作業に取り掛かります。上級生になるに従い、作業工程も難しくなり、手の込んだ製品を作り上げていきます。二・三年生の金属加工班になるとアーク溶接ができるようになり、テーパーやシユースラック等を製作します。アーク溶接の技術も高く、難易度も上がります。

金属加工で学んだ根気強さを生かして、就職を目指して頑張っています。



セメント加工・清掃

セメント加工の授業では、今年度から二年生の授業で新たに清掃が加わり、セメント加工・清掃班として活動しています。

一年生ではセメント製作の基礎を学びます。

二年生では、セメント製作と、校内の清掃活動に取り組みます。清掃活動では、清掃道具の使い方を学び、窓清掃や床清掃などを実践しています。床清掃の最後は今年度購入した、ポリッシャーを使用して校舎内のワックス掛けを行いました。セメント製作では、文化祭に向けて小物製作や、平板製作を行っています。

三年生では、今年度も大有コンクリート工業(株)の委託を受け、車止めブロックと平板を製作しています。

セメント製作も、清掃活動も、仲間との協力が求められます。仲間同士で声を掛け合って、元氣良く活動が続けていきます。



窯業

窯業班では一年生はマグカップ、二年生は角皿やボウル皿、三年生はご飯茶碗やカップ&ソーサーなどを製作しています。

瀬戸市の専門店から土や釉薬を購入し、調節するところから生徒が取り組んでいます。土を練り、型に合わせて一つ一つ心を込めて作っています。窯は本校の電気窯、ガス窯を使って焼成しています。時間をかけて出来た製品を窯から出す時、言葉では言い表せない喜びをかみしめます。一つ一つ手作りならではの味わいがありますので、ぜひ手に取って御覧ください。

今年の目玉製品は三十周年記念品、その名も『ケロケロゴッド』。『無事に帰る』『福帰る』『若返る』さらには仕事運アップ!子宝運アップ!の優れもの。お土産にぜひ一つどうぞ。





紙加工

紙加工は、紙を使って製品を作る工業です。一年生で基本的な工程を学んだあと、様々な製品作りに取り組んでいます。

今年度は、文化祭に向けて、多くの製品を作っています。

一年生では、基本的な小箱のほか、ペンケースやポチ袋、封筒などを製作しています。新製品の試作にも携わっているクラスもあり、日々の成長が著しいです。

二年生は、人気商品であるティッシュケースやスマホスタンドなどを製作しています。サイズが大きく、一年生よりも難易度が上がりますが、苦戦しつつも一生懸命に取り組んでいます。

三年生は、従来品の改良と新製品の開発に力を入れています。今まで学んできた技術を応用し、生徒自身で改善箇所を考え、工程表を作成しました。試行錯誤の連続でしたが、完成したときは、達成感に満ちた嬉しそうな表情を見せてくれました。今後も、たくさんのお客様に長く使っていただける製品を作れるよう、努めていきます。



縫製加工

縫製加工班は布を使い製品を作る工業班です。今年度は学校創立三十周年文化祭に向けて、多くの製品を作っています。

一年生は、縫製加工の基礎を学んだ後、猫をモチーフにしてパッチワーク製品を作りました。

二年生は、家庭科技術検定にチャレンジし、なみ縫い、まつり縫い、ボタン付けなどを練習し、見事全員検定に合格することができました。手縫いに苦戦しつつも一生懸命に取り組むことができました。

三年生は、毎年販売実習で好評をいただいている、かっぽう着を数十枚作りました。また、毎朝学校で使用している貴重品袋を新たに作りました。

製品が完成したときに、生徒たちは達成感に満ちた嬉しそうな表情を見せてくれました。今後も、たくさんのお客様に長く使っていただける製品を作れるよう、努めていきます。



流通・サービス

流通・サービスは、文部科学省の学習指導要領に示されている知的障害の特別支援学校で実施される専門教科です。近年、本校でも流通・サービス業務への関心が高まり、非製造業に就職する道が開けるように、平成十六年度より二、三年生の二年間、全工業班で毎週二時間の授業に取り組んでいます。

本校では、工業・農業種目と同様に、作業中心の専門教科として、次の四つの領域で展開しています。【商品管理】計量、野菜の袋詰め、陳列、包装、ダンボールの組立て、運搬、ピッキング【販売】販売実習、接客、会場設営、喫茶サービス、ポスティング【清掃】清掃道具の使い方、手順【事務】印刷、製本、パソコンの基本操作（文書作成、データ入力）、その他、複数の領域に渡り、挨拶、電話の応対、メモの取り方、ビジネスマナー等についても学びます。また、福祉・介護の分野に関心を持ち、就職を希望する生徒もいるということを考慮し、三年生では高齢者介護の基礎的な部分を学んでいます。

身に付けたい力

正確性・集中心力
効率・能率
コミュニケーション・協力
責任感・適切な応対



農業・園芸

農業・園芸は、毎週一回二時間実施で一年生は全員が実施します。一、三年生はどちらかの学年で一度園芸の授業に取り組んでいます。園芸の授業では、栽培する活動を通して、食の大切さや命を大切にすることを育てること、協力する力を高め、職業自立の一助とすることを目標とし、働くことを意識しながら、人生を豊かにする授業を行っています。

農業、園芸共に、季節の野菜や花を育てていますが、ほとんどの野菜や花は、苗を購入して栽培するのではなく、種から育てています。播種、ポットへの移植、定植と一から育てた野菜を収穫し、学校給食で試食するといった生産の全ての流れを体験することができています。また、流通の流れとして、収穫した野菜や、育てた花や苗、摘み取った花やサツマイモの蔓から作ったクリスマスリース、しめ縄等を十一月の文化祭や、地域向け販売会、市役所や地域に向いての販売活動で保護者や地域の方にも販売しています。文化祭では、全ての生徒がそれぞれの工業で販売活動を体験しています。年間を通して、四季折々の植物を育て、生徒は楽しく活動しています。





オリエンテーション合宿 一年生

五月二十九日（水）から五月三十日（木）まで、愛知県美浜自然の家でオリエンテーション合宿を行いました。本校の生徒として、学習、生活、進路などの心構えをもち、公共の場のマナーや集団生活のルールを守りながら活動することをねらいにして取り組みました。

家や学校と違う環境で集団生活をする中で、仲間の新たな一面が見られ、学級の仲が深まりました。また、ウォークラリー、クラススタンプ、係などの活動を通して、仲間と協力する気持ちや、時間を守る意識が高まった姿を見ることができました。この経験を生かしながら、今後の学校生活でますます力を伸ばしていったほしいと思います。



野外活動 二年生

六月二十日（木）から一泊二日で、岐阜市少年自然の家で野外活動を行いました。

初日の昼食時間は、クラスで自然散策を楽しみ、その後、竹スプーン作りをしました。のこぎりやなた、小刀の扱い方に苦戦しつつ、一枚の竹板から、オリジナルスプーンを仕上げました。中には、スプーンの柄にインシヤルを入れたり、滑らかなカーブになるよう薄く削ったり工夫し、持ち前の器用さを発揮していました。夜は、同施設に宿泊していた小学校からの誘いで、キャンプファイヤーに参加させていただきました。「雨ニモマケズ」の朗唱を学年で発表し、「ジンギスカンダンス」や「じゃんけん列車」を元気な小学生と一緒に全力で楽しみ、大いに盛り上がった時間は、きっと忘れないと思います。帰り道は、短い林道をナイトハイクルし、充実した一日が終わりまりました。

二日目は、野外炊事。クラスで協力して作った熱々のワインナーカレーを、一日目で各自製作した竹スプーンで、頬張った美味しさは、格別でした。この野外活動を通して、学年やクラスの仲間との絆が深まり、自らの成長を実感することができました。



修学旅行 三年生

十二月十一日〜十三日にかけて、修学旅行で広島県と大阪府へ行ってきました。

昨年度から平和について調べ学習を行ってきました。身近な平和から戦争まで幅広く平和について調べ、発表しました。今年度も平和について調べたり、現地の観光名所や有名な食べ物等を調べたりして、調べたことをまとめで発表を行いました。

一日目は広島県の宮島を観光しました。

二日目は広島県の平和記念資料館の見学、被爆者体験講話と、ボランティアガイドさんによる案内を受けて、平和記念公園の見学を行いました。

三日目は、大阪で、ユニバーサルスタジオジャパンへ行きました。

中学校の修学旅行は、コロナ禍で思うようにいかなかった生徒も多く、今回の旅行を特に楽しみにしていた生徒も多くいました。貴重な時間を過ごすことができ、とても充実した旅行となりました。



寄宿舎の取組

寄宿舎では、今年度は十名の新入舎生を迎え、三十五名体制となりました。季節に応じた様々なイベントを行い、縄跳びなど、簡単な運動をする時間を設けたり、時には体育館や運動場を使つての試合を行ったりすることで、健康の維持に努めています。文化祭では展示発表を行い、寄宿舎生活についての紹介や書写を展示しました。

展示発表に向けての準備では、生活の紹介を、インスタグラム風にしました。舎生は画用紙を切ったり、ハッシュタグの内容を考えたりしました。自己紹介では、「生活で工夫していること」がテーマでした。それぞれ工夫しながら生活していることを再確認できました。舎生全員で協力して取り組むことができました。書写のテーマは「いろは歌」でした。三年生は、二文字を担い、完成するまでに百枚以上書いた舎生もいました。自分が納得するまであきらめずに書き、良い作品ができました。

